

## 令和3年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立向島中学校	校長	石川敬一	生徒指導主事	山岡歩未
-----	-----------	----	------	--------	------

## 取組事例名 『ソーシャル・スキル・トレーニング』

## 取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
コミュニケーション能力	1	協調性	3	表現力	2

## 取組のねらい

- ・グループでの話合いや活動を通して、コミュニケーション能力・協調性を高める。
- ・自分の言葉で思いを伝え、表現力を高める。

## 取組の具体的内容

## 取組の創意工夫

## 『キーワード：聴く・伝える』

## 【R Jサークル】

- ・グループで円になり、円の中に折り紙をおく。
- ・質問に答える前に折り紙を手に取り、順番に答えていく。  
(質問) 今の気分を色で表す何色ですか?  
自分・隣の人を色で表すと何色ですか? など

## 【ワールド・カフェ】

- ・グループで思いついたことや考えたことを模造紙に書き残す。
- ・グループを変更する。1人は必ず同じグループにとどまり、模造紙もそのまま。
- ・変更後のグループで再度交流し、考えたこと等を模造紙に書き加える。
- ・最初のグループに戻り、全体に模造紙を使って交流したことを発表する。  
(質問) あなたは無人数島に漂流しました。手元に一つだけ物があります。それは何ですか。



- SSWの先生方を特別講師として招き、生徒と一緒に活動に参加してもらった。
- 取組を継続するために、学期に1度取組を企画し実践した。
- 活動中に、話をする人が安心して話ができる環境作りを行った。
- 【約束事】
  - ・話を途中で遮らない。
  - ・相手の話の内容を否定しない。
  - ・どうしても話したくない時は話さなくて良い。
- 同時期に総合的な学習の時間に異学年交流を行い、「聴く」・「伝える」を意識した活動を行った。

## 取組の成果と課題

活動中の各クラスの様子を見ていると、積極的な話合いができるクラスとそうでないクラスがあった。安心して話ができる環境作りを行ったが、日頃の学級の雰囲気や活動中の様子の違いに影響を与えていると思われる。また、アンケートでは、「授業で、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしている。」に肯定的な回答をした生徒の割合は84.5%であり、「授業では、自分の考えを積極的に伝えている。」に肯定的な回答をした生徒の割合は52.0%であった。

取組の成果として、聴いたことを自分に生かすことができている生徒が多い。課題としては、考えを伝えることに難しさを感じている生徒が多い。安心して話せる環境が作られていないことも原因の一つであると思われるので、特別活動の時だけ安心して話せる環境を意識するのではなく、安心・安全な居場所作りを意識した学級経営に繋げていく必要がある。